

施設



▲防火衣室

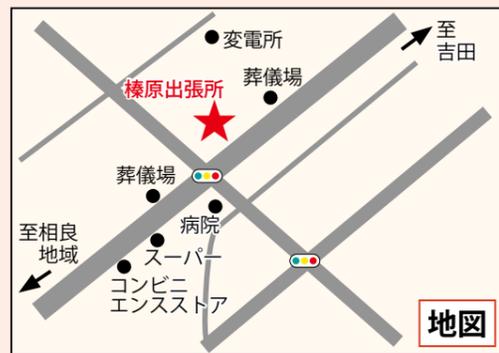
車庫に隣接する防火衣室（出動準備室）を中心に、隊員が出動時に最短時間で出動可能な動線を確認。ロッカー1台で2人分の準備が可能です。



仮眠室



非常用自家発電機



地図



牧之原消防署榛原出張所 外観 (2月26日時点)

概要

- [所在地] 牧之原市細江4405番地1
- [敷地面積] 2199.71㎡ (665.41坪)
- [構造] 鉄骨造陸屋根平屋建
- [延床面積] 541.49㎡
- [配置人数] 10人 (今後12人予定)
- [建物] 旧島田掛川信用金庫の建物 (平成27年10月23日新築) を改築し、出張所として使用
- [配備車両] 2台 (水槽付きポンプ自動車、救急車)
- [運用開始日] 令和8年4月1日 困

配備される車両

高規格救急車 (写真㊤)

国内で現在主力の救急自動車で、一般の救急車よりも高度な救急医療が可能です。救急救命士が搭乗し、心肺停止など症状が重い患者に医療行為を行うことができる高度救命資機材を搭載しています。

水槽付きポンプ自動車 (写真㊦)

ポンプ自動車に常時1.5トンの水を載せており、水利のない場所でもそのまま放水することが可能となります。また、この車両には、「圧縮空気泡消火システム (CAFS: キャプス)」が装備されており、消火薬剤を混ぜて放水する機能を備えているため、普通の水で消火するよりも消火効果が高くなります。



(写真は吉田消防署の車両)

榛原出張所開所に伴う各消防署管轄エリアの再編(図)



消防救急業務の市民サービス向上のため、平成28年4月から、静岡市、島田市、牧之原市、吉田町、川根本町の3市2町で構成される、静岡地域の消防救急業務広域化を開始しています。静岡地域広域消防運営計画に基づき、消防力の空白地域である榛原地域に牧之原消防署榛原出張所を建設することが決定していたため、令和7年6月から出張所整備の工事を開始し、令和8年3月に完成しました。

消防の広域化と出動体制
市内では4月1日から、牧之原消防署、地頭方出張所、榛原出張所で、原則市内の消防救急事業に対応します。榛原出張所の開所により、主に榛原地域の消防力が向上します。消防の広域化の利点として、基本的に出勤現場から一番近くの出動が可能になります。しかし、牧之原消防署のみで市内の災害に対応するというわけではなく、今までどおり広域市町の消防署からも出動(搬送)します。

指揮隊を発隊
出張所の開所と併せて4月1日から、市初となる指揮隊が牧之原消防署に指揮隊1隊に新設。また、榛原出張所に救急・消防隊1隊が新しく配備されます。「指揮隊」とは、災害現場において、活動する各部隊の統括情報収集、安全管理、関係機関との連携を一手に担う専門部隊。災害が大規模化、複雑化する現代において、的確な意思決定を行い、消防全体の総合力を最大化する極めて重要な役割を持っています。



地域の防災力強化へ

静岡市消防局牧之原消防署榛原出張所運用開始へ

地域の生命財産を守る役割を担うため、細江区に「牧之原消防署榛原出張所」が完成しました。4月1日から、1隊5人体制で消防救急業務を開始します。

問い合わせ 危機管理課 谷澤 ☎(23)0057